岐阜県立岐阜病院病診連携新聞

# すこやか

第4号
平成15年1月発行
岐阜県立岐阜病院
病診連携推進部会

**病院理念**

県民に信頼され、患者さまの立場にたったよりよい医療を提供するために

一、Humanityに基づいた医療
二、EBM(Evidence Based Medicine)の実践
三、効率的な病院運営

に努めます

## ITを活用した病診連携ネットワークつくりを夢みて

県立岐阜病院
病診連携部長　小林　成禎

- 日本医療機能評価による病院機能評価認定　平成14年3月18日
- 自治体優良病院として総務大臣表彰　平成14年5月16日
- ISO14001認定　平成14年10月18日

最近の著しい医療環境の変化や医学の進歩とともに、医療は一人の医師や一つの病院、一つの診療所で完結できないことが実感されるようになってきています。このため当院では以前から病診連携を積極的に進めてきております。平成13年5月から12床でスタートした開放型病床も順調に進み、現在100床が各診療科分散型で本格稼動しています。これまで多くの登録医の先生方に御指導、御協力いただきましたことを心から感謝申し上げます。

これからはクリニカルミーティングなどを通じ、当院の医師と登録医の先生方とのネットワークをますます密にし、FAXによる紹介連絡や検査予約システム方式の拡大をすすめていきます。さらに当院は岐阜県の中核病院の１つとして地域完結型医療を目指しており、地域の「かかりつけ医」への逆紹介を積極的に行っていきます。

現在、医療の世界におしよせているIT化の波は刻々と身近にせまってきていますが、その第一の目的は「患者中心の医療と質の向上を目指すこと」であり、情報の一元化、地域ネットワークへの活用や職種を越えた医療チーム形成など幅広い用途が期待されています。当院におきまして平成１８年度新築オープン予定の岐阜県総合医療センター（仮称）では、ペーパーレス、フィルムレスのIT化（電子カルテ）をはかることにより、登録医の先生方と患者情報の共有化を夢みております。

# 私の考える病診連携について
## ―開業医師の立場より―

岐阜市医師会理事・病診連携室長 広瀬　洋

昭和30年代から順次拡充されてきた公的医療保険制度と、それに伴い開業医を含めた地域の各種の医療機関が整備されてきたことなどが、現在のわが国特有の長寿社会に大きく、寄与してきたことは周知のこととなっていますが、社会生活基盤が充実して、比較的に成熟した社会となった昨今では、現在の医療供給体制ではもはや不十分な状況となってきたのも事実です。つまり患者さんやその家族の医療に対する価値観は非常に多様化し、医療の経済的効率化、情報の公開化、高齢化社会に向けた介護も含めた施設、在宅を通した一貫した療養環境、高度医療の共有化、さらなる治療効果の向上など、非常に多くの社会的要求がますます高まりつつあるのが現状です。

一方、医療を供給する側からみてみますと、医学的研究の飛躍的発展に支えられた医療技術の高度化により診断能力や治療効果などの医療面は大きく向上したと考えられますが、かかりつけ医としての認識などの診療体制や入院治療体系、退院後のフォローや生活療養指導など社会的運営面の改革がおくれていて、医療の社会的信頼を損ないかねない状況となってきています。

以上のような状況より、開業医、民間法人病院、公的基幹病院、特定機能病院など各医療機関相互の地域における連携体制のシステム化、つまり地域完結型医療の構築は、医療の社会的重要性と信頼を再認識してもらうために、非常に重要な課題と思われます。

そこで連携医療体系化に必要な要素を考えてみると、1）医療機関相互の平素からのコミュニケーションの維持、2）診療情報の共有化、3）情報提供の規格化・共通化、4）受診者や社会の連携医療に対する理解などがあげられます。つまり連携を確実に進めていくためには相互のコミュニケーションを確立するために責任ある窓口組織の整備が必要で、その目的のため各病院においては「連携担当室・係」を設立し、迅速かつ確実な連絡体制を確保しなければなりません。また開業医側の意見や事情を集約して全体の窓口となる組織を設立して、病診相互の調整連絡を行いその目的を達成することになります。

岐阜市医師会では平成13年度の県の委託事業で「地域医療連携事業」を実施し、その際に情報提供の規格共通化のためFAX送信方式の予約・紹介システムを立ち上げて、モデル病院との間で連携体制を運営し一定の成果を上げることが出来ました。またモデル病院には「病診連携室」を設立していただき、その後も順調に稼動している病院も多くあります。

その後、岐阜市医師会では平成14年度に「地域医療連携センター」を設立して専属の運営担当者を置き、現在各病院の医療連携室の担当者との間で連絡連携体制を作り、定期的に情報交換と懸案事項の解決にあたるため連絡会を開催する準備をしています。今回、県立岐阜病院など公的病院にもこの医療連携に参加していただく旨承諾してもらっていますので、今後は岐阜地域のより多くの医療機関を結ぶ「地域医療連携体制」が整い地域医療にたいする更なるの信頼が再認識され、患者さんをはじめとする地域社会に大きく役立ち、私たち医療者も、将来にわたって意欲をもって従事できることを強く期待しています。

# 総合内科紹介

総合内科部長 村山正憲

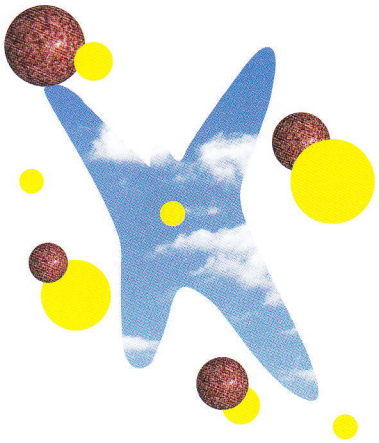
## スタッフ

村山正憲部長、吉野功二医長、尾崎真由実レジデント医師、丹羽啓之臨床研修医

## 現状

当科の診療範囲は内科全般ですが、慢性疾患外来患者の内訳は糖尿病が多数をしめ、ついで、内分泌病、血液病、免疫膠原病が続きます。

糖尿病は2～3週間での教育入院をはじめ、外来・入院で各種経口薬、インスリン治療を導入いたします。栄養指導のご依頼も可能です。糖尿病教室は偶数月の第一、第二金曜の午後2時より外来で実施しております。詳細は総合内科外来までお問い合わせください。



内分泌疾患は甲状腺疾患がその多くをしめます。バセドウ病の放射線ヨード療法も昨年より始めています。

血液病は急性白血病をのぞき、慢性白血病、リンパ腫、骨髄腫、各種貧血、血小板減少症などが主な対象疾患です。

免疫膠原病も関節リウマチ、SLEなど多種様々な疾病の診療を行っています。

しかし、当科の診療で最も特徴的なことは、疾病を羅列的に診るのではなく総体としてとらえるように努力していることです。その方法が「プロブレムリスト」の作成と管理です。過去の資料、問診、身体診察、スクリーニング検査を基礎資料として、その患者から「プロブレム」を抽出し、発生した順、または疾病と認識した順に番号をつけてプロブレム（疾病名）リストを作成し、それぞれを評価して治療プランをたてています。この「リスト」は外来入院を通じて変えることなく継続しますので疾病履歴としての意味を持ちます。現在医師会を中心として計画準備されている「診療のIT化」では、データの共有だけではなく、このようなカルテ記載の方法が意味を持つのではないでしょうか。いただく患者紹介状にプロブレムの記載があるときはできるだけそれを引き継ぎ、記載のない時には当科でリストを作ってご報告、または逆紹介をさせていただいています。

当科へは上記の他、多種の疾病を有して複雑な方や不明な疾病を有する方をご紹介いただければ幸いです。できるだけお役に立てればと考えています。

## トピックス

### 糖尿病

様々な作用機序の経口薬、超即効性インスリン製剤の登場で、治療のバリエーションが広がりました。

# 眼科紹介

眼科部長 直原修一

## スタッフ

直原修一部長、丹羽義明医師、高橋研一研修医

## 眼科の先生へ

すでに諸先生方にはよくご存知のとおり、県立岐阜病院の眼科では、糖尿病網膜症、網膜剥離などの網膜・硝子体疾患の手術をはじめ白内障、緑内障、斜視などの手術治療、ステロイドパルス治療をはじめとする薬物治療など、眼科全般にわたる診療を行っています。網膜・硝子体疾患と白内障の同時手術、緑内障と白内障の同時手術など、患者負担の少ない術式を取り入れると同時に、ほとんどすべての症例にクリニカルパスを適用して均質でレベルの高い診療ができるように努めています。さらに、総合病院の眼科として全身的な問題を抱えた患者さまにも対応が可能です。

また、開放型病床の運用も開始され、ご紹介いただいた入院患者さまを、ご紹介いただいた先生と私どもと共同で診療することができますので、よりスムーズな連携が可能になりました。ぜひ、この制度もご利用いただきたいと思います。これまで同様、どうぞよろしくお願いいたします。また救急を要する患者さまにつきましては、昼夜を問わずいつでもぜひご連絡いただければ幸いに存じます。

## 眼科以外の先生へ

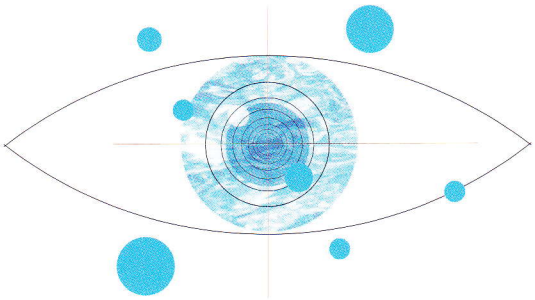
### 失明の原因疾患

中途失明の原因の第1位は糖尿病網膜症です。第2位以下は緑内障、白内障、網膜色素変性症、強度近視などと眼疾患が続きますが、失明原因の第1位である糖尿病網膜症は純粋な眼疾患とは申せず、眼科医としてはどうしてもある種のもどかしさを感じます。

### 眼所見の確認

眼に合併症を起こすことがある全身疾患（他科疾患）は、糖尿病網膜症以外にも多数あり、眼科と各科の緊密な連携が必要であることは今さら申すまでもありませんが、先生方が診療されている患者さまの眼所見について、今いちどご確認をしていただきたいと思います。もちろん、ご近所のかかりつけの眼科で眼底所見なり、視野検査なりを、気軽にご依頼なさっていただきたいと思います。

すでに、多くの先生方からは県立岐阜病院眼科へ、直接多数のご紹介をいただいており、大変有り難く存じております。これまでどおり患者さまのご希望に添った形で、病診連携に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



# 診療医師担当日表

病院管理者　院長　清 水　勝　H15・1・1現在

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 一番 | 八巻（循環器科）<br>松尾（循環器科） | 大野（腎臓科）<br>廣瀬（循環器科） | 松尾（循環器科）<br>琴尾（循環器科） | 瀬川（循環器科） | 松尾（循環器科）<br>高橋（禁煙外来） |
| 内科 | 二番 | 田中（循環器科）<br>小田（腎臓科） | 瀬川（循環器科） | 大橋（腎臓科） | 小田（腎臓科）<br>岩間（循環器科） | 大橋（腎臓科） |
| 内科 | 三番 | 渡辺佐（循環器科） | 渡辺（循環器科） | 松野（循環器科） | 渡辺佐（循環器科）<br>松野（循環器科） | 渡辺佐（循環器科） |
| 内科 | 特殊外来 | | 大橋（CAPD）<br>廣瀬（女性外来）午前 | 渡辺佐（ハートクリニック） | 大橋（CAPD）<br>広瀬（ペースメーカー） | 松野（ペースメーカー） |
| 内科 | 五番初診 | 安田 | 大西 | 大西 | 大西 | 小林（初診・再診） |
| 内科 | 六番 | 清水（肝）<br>清水洋（神）午後予約のみ | 清水（肝）<br>小林 午後（胃透視結果説明） | 山崎（消化器） | 清水洋（神） | 山田（神）初診 |
| 内科 | 七番（再診） | 山田（神） | 福富（消化器） | 安田（呼吸器）<br>小林　午後（胃カメラ結果説明） | 渡辺裕（消化器） | 松野（呼吸器）<br>初診・再診 |
| 内科 | 八番 | 診療医不定（総内） | 診療医不定（総内） | 診療医不定（総内）<br>小島（心身）　午後 | 尾崎（総内）（再診） | 診療医不定（総内）<br>野嵜（心身）午後 |
| 内科 | 九番 | 村山（総合内科）<br>（再診・初診） | 吉野（総合内科）<br>（再診・紹介初診） | 村山（総合内科）<br>（再診・紹介初診） | 吉野（総合内科）<br>（再診・初診） | 村山（総合内科）<br>（再診・紹介初診） |
| 小児科 | | 今村（小児）<br>堀越（小児）<br>今村（脳波外来）午後<br>井上（心理外来）午後 | 今村（小児）<br>松尾（小児）<br>鈴木（心理外来）午後 | 今村（小児）<br>堀越（小児）<br>松尾（腎臓・肝臓外来）<br>鈴木（心理外来）午後 | 今村（小児）<br>山田（小児）<br>松尾（内分泌アレルギー）<br>井上・鈴木<br>（心理外来）　午後 | 今村（小児）<br>松尾（小児）<br>今村（発達外来）午後<br>堀越（神経内分泌外来）<br>井上（心理外来）午後 |
| 小児循環器科 | | 桑原尚（予約のみ） | 桑原尚 | 桑原尚 | 桑原尚 | （休診） |
| 新生児科 | | 市橋（午後）<br>鈴木（心理外来）午前 | 長澤（午後）1.3週<br>山本（午後）2.4週 | 市橋（午後）<br>鈴木（心理外来）午前 | 若園（午後）1.3週<br>笠原（午後）2.4週 | 市橋（午後）<br>井上（心理外来）1.3.5週 |
| 外科 | 一診 | 山森　三澤 | 三澤　古市 | 大橋　河合 | 古市　三澤 | 大橋　山森 |
| 外科 | 二診 | 安藤　福井 | 河合　青木 | 福井　酒井 | 山森　河合 | 福井　酒井 |
| 脳神経外科 | | 谷川原　大熊 | （手術） | 山川　服部 | 谷川原　大熊 | 山川　服部 |
| 整形外科 | | 飯沼（初診）<br>中村（再診） | 横井（初診）<br>喜久生・寺林（再診）隔週 | 鈴木（予約再診のみ） | 中村（初診）<br>横井（再診） | 寺林・喜久生（初診）隔週<br>飯沼（再診） |
| 心臓血管外科 | | 村上 又は 宮内 | （手術） | 澤村 | （手術） | 滝谷 |
| 小児心臓外科 | | （手術） | 竹内・滝口（午後） | （手術） | （手術） | （手術） |
| 皮膚科 | | 前田・藤沢<br>（検査） | 初診のみ（特殊治療）<br>（手術） | 前田・藤沢<br>学童外来 | 前田・藤沢<br>（手術） | 前田・藤沢<br>（検査） |
| 泌尿器科 | | 竹内 | 酒井 | 谷口 | 診療医不定（初診のみ） | 三輪 |
| 産婦人科 | | 山田（初診・再診）<br>篠原（妊婦検診）<br>（検査） | 中川（初診・再診）<br>篠原（妊婦検診）<br>（手術） | 山田（初診・再診）<br>平野（妊婦検診）<br>（手術・検査） | 平野（初診・再診）<br>中川（妊婦検診）<br>（手術） | 篠原（初診・再診）<br>中川（妊婦検診）<br>（検査） |
| 眼科 | | 直原・丹羽・高橋<br>（手術） | 丹羽・高橋<br>（斜視・弱視外来・外来手術） | 直原・丹羽・高橋 | 直原・丹羽・高橋 | 診療医不定<br>（手術） |
| 耳鼻咽喉科 | | 柳田正・柳田三・谷本<br>（手術） | 柳田正・柳田三・谷本<br>（予約検査） | （手術） | 柳田正・柳田三・谷本<br>（予約検査） | 柳田三・谷本<br>（手術） |
| 放射線科 | | 三宅 | 三宅 | （検査） | 三宅 | 三宅 |
| 歯科口腔外科 | | 石丸<br>（手術） | 水井 | 石丸・水井<br>（検査） | 石丸<br>（手術） | 石丸・水井<br>（顎関節外来） |

＊受付時間／平日 8:30から11:00まで

## 編集後記

岐阜県立岐阜病院病診連携新聞第4号をお届けします。新聞の名称を公募し、“すこやか”を採用させていただきました。病診連携に向けて、先生方に少しでもお役にたてる紙面を目指しています。ご意見、ご要望がございましたらお寄せください。お待ちしています。

岐阜県立岐阜病院
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号
TEL（058）246-1111（代）　FAX（058）248-3805
http://www.pref.gifu.jp/gifu_hospital

発行／岐阜県立岐阜病院病診連携推進部会